

平成30年度第3回柏市自立支援協議会／議題・報告事項

1 各部会報告(部会報告シート)

相談支援部会	2 ページ
はたらく部会	5 ページ
こども部会	8 ページ
くらし部会	10 ページ

2 関係会議報告

柏市障害者差別解消支援地域協議会	13 ページ
柏市障害者権利擁護ネットワーク会議	13 ページ
柏市障害児等医療的ケア支援連絡会	16 ページ
柏市地域生活支援拠点運営協議会	18 ページ

柏市自立支援協議会 全体会 部会報告シート

<p>【部会名】 相談支援部会</p>	<p>【部会長】 地域生活相談センター シャル 関口 篤行</p>
<p>1 相談支援部会</p> <p>(1) 第4回相談支援部会（10月26日開催）</p> <p>ア 相談支援連絡会 （4）にて後述。</p> <p>イ 基幹相談支援センター，委託業務の推進及び今後の部会の運営について</p> <p>（ア）先進自治体の基幹相談支援センター等委託相談の見学実施。</p> <p>（イ）今後の相談支援部会の運営やあり方について，他部会のように新たにワーキングを作ってはどうか，委員を指定相談事業所から選出するにあたっては，バックアップ体制をどうするか，相談支援連絡会の実施主体や運営方法，地域移行，定着における保健所との連携等について意見交換を行う。</p> <p>(2) 第5回相談支援部会（12月14日開催）</p> <p>ア 相談支援連絡会 （4）にて後述。</p> <p>（ア）相談支援連絡会に実施したこども部会との合同開催「事業所間の連携を深める」の結果を報告し，情報共有の方法，内容については明確にすべきで，アセスメントの取り方，伝え方が課題となることを共有した。今後，課題に対する取り組みについては部会の中で協議していく。</p> <p>（イ）保健所より平成31年度の連絡会で医療観察法の勉強会ができないか提案があった。</p> <p>イ 基幹相談支援センター及び委託業務の推進</p> <p>（ア）神奈川県厚木市が直営する基幹相談支援センターの視察を2月に実施する。</p>	

(イ) 来期の相談支援部会で計画相談の事業所に議論の場を設けること等について意見交換を行う。

(3) 相談支援部会の開催スケジュール

下記のとおり。

日 時	場 所
12月14日(金)10:00~12:00	地域生活支援拠点あおば 会議室
2月8日(金) "	

(4) 相談支援連絡会

月	日	主催	主な内容
4	7月20日	たんぽぽセンター	みんなで考えよう柏市の相談支援体制ー地域生活支援拠点を開始して
5	8月17日	ティータ	震災・災害時に備えて相談支援専門員としてできること
6	9月14日	権利擁護あさひ	平成30年度から始まった計画相談支援の加算について
7	10月2日	くらし部会 居住サービス連絡会	グループホーム事業所と相談支援事業所との連携
8	11月27日	こども部会 事業担当者会議	事業所間の連携を深める
9	12月21日	地域生活相談センター シヤル	制度の課題とサービス等利用計画の書式について
10	1月18日	たんぽぽセンター	地域生活支援拠点活用の実際と地域課題
11	2月15日	サポートセンター沼南 訪問看護連絡会	(仮) 「地域診断」と事例検討
12	3月15日	障害者相談支援室	(仮) 制度改正について

2 地域移行支援協議会

第4回（12月14日開催）

手賀沼病院にて事例検討会を実施。事例は、精神障害のケースで、入退院を繰り返しているケースを提示。手賀沼病院スタッフ（医師・看護師・介護士・ケースワーカー）、相談支援事業所、行政から約50名の参加があった。医療機関側が感じている地域連携の課題として。「顔が見える関係作り」「情報共有」の意見が多く、第3回的事例検討会で出た意見と共通していることが明らかとなった。

【今後の活動予定】

- 1 障害者相談支援連絡会 毎月第3金曜日を基本に開催。
- 2 地域移行支援協議会 2ヶ月に1度開催。

柏市自立支援協議会 全体会 部会報告シート

<p>【部会名】 はたらく部会</p>	<p>【部会長】 ビック・ハート柏 八木原 直彦</p>
<p>1 はたらく部会</p> <p>(1) 第2回：10月18日（木）開催</p> <p>ア (ア) 第1回一般就労連絡会の報告 (イ) 第1回福祉的就労連絡会の報告</p> <p>イ (ア) 4市合同企業セミナー 準備会の報告 パネルディスカッション，基調講演の登壇者を検討した。また，企業見学について，依頼する企業の候補を挙げて検討した。</p> <p>(イ) MONOづくりマルシェ in アリオ柏 準備会の報告 千葉県障害者就労事業振興センターの方々をお招きし，POPやレイアウト等に関する勉強会を行った。</p> <p>ウ グループワーク 利用者確保と WAM NET に公開する情報について，意見交換を行った。相談支援事業所や事業所間の連携の大切さや，在学中の方や保護者のニーズを知りたいという意見が出た。情報公開については，掲載する情報の精査が必要であるといった意見が多く挙がった。</p> <p>(2) 第3回：1月24日（木）開催</p> <p>ア (ア) 第2回一般就労連絡会の報告 (イ) 第2回福祉的就労連絡会の報告</p> <p>イ (ア) 4市合同企業セミナー 準備会の報告 a 基調講演は，今井 絵理子氏にご登壇頂く予定（1月28日に確定）。パネルディスカッションは，バロックジャパン，仁和運送，新松戸中央総合病院に決定。企業見学についてもご対応いただく。 b 当日の役割分担やスケジュール等を確認した。</p>	

(イ) MONOづくりマルシェ in アリオ柏の報告

今年度は14事業所が参加。全体の売上は昨年より減少。レイアウト等についてはお客様が見やすいように工夫が施され、好評の声を受けた。一方、新規の顧客確保の工夫が必要であるといった意見も挙がった。

ウ 講演会

テーマ：地域生活支援拠点とはたらく部会との関係

講師：たんぽぽセンター 大久保氏

エ グループワーク

地域生活支援拠点に関する意見交換を行い、学校や保護者向けに説明する機会や、セルフプランの方の相談や緊急の活用等についての意見が挙がった。また、今年度の振り返りと次期ノーマライゼーションかしわプランに向けての調査項目について、文章の訂正や追加項目に関して意見交換を行った。

2 福祉的就労連絡会

(1) 第2回：10月18日（木）開催

ア MONOづくりマルシェ in アリオ柏 準備会の報告

第2回はたらく部会の報告を参照。

イ 講習会

テーマ：『障害者就労事業所の現状と最近の動向について』

講師：千葉県障害者就労事業振興センター センター長 緒方氏

(2) 第3回：1月24日（木）開催

ア MONOづくりマルシェ in アリオ柏の報告（12月7日）

第3回はたらく部会の報告を参照。

イ グループワーク

今年度の取組みについて各グループで共有し、福祉的就労の在り方や工賃向上についての意見交換を行った。B型に

求める役割が昔と変わってきており，居場所としてのB型という認識が保護者に増えてきていることや，生活介護とB型の間の能力がある利用者に対しての支援の難しさについて等，意見が挙がった。

3 一般就労連絡会

(1) 第2回：10月25日（木）開催

ア 4市合同企業セミナーの準備会報告

第2回はたらく部会の報告を参照。

イ 講習会

テーマ：就労定着支援事業について

講師：市川市の就労定着支援事業所リバーサル 清野様

【今後の活動予定】

1 一般就労連絡会

(1) 第3回：2月15日（金）開催予定

今年度の振り返り，来年度に向けての意見交換を行う予定。

(2) 4市合同企業セミナー：平成31年2月8日 けやきプラザ
(我孫子市)

2 来年度について

部会，各連絡会の開催日程については検討中。

柏市自立支援協議会 全体会 部会報告シート

<p>【部会名】 こども部会</p>	<p>【部会長】 社会福祉法人桐友学園 新福 麻由美</p>
<p>1 第3回こども部会（1月22日開催）</p> <p>(1) 早期支援担当者会議の報告</p> <p>巡回相談，サポートファイル，公開療育について報告を行った。</p> <p>児童発達支援事業所間の連携を強化しながら，施設の質の担保と量的な拡大に対応していくため，児童発達支援センター，児童発達支援事業所，柏市こども発達センター，障害者相談支援室による，（仮称）児童発達支援事業所連絡会をこども部会のワーキンググループ（当面の事務局はこども発達センター）として位置づけたい。</p> <p>(2) 来年度の障害児通所支援事業の許認可，現地指導について</p> <p>障害福祉課より報告。自治体の条例制定に関わる関連法案の整備が遅れており，しばらくは千葉県の基準で行い，柏市独自条例の制定は遅れる。</p> <p>(3) 今年度の部会活動のまとめ</p> <p>サポートファイルの進捗状況の報告，学齢期部分の内容について今後，検討していく必要があるなどの課題について確認を行った。また，不登校児の現状について教育研究所より報告があり，出席日数の換算方法や放課後等デイサービスの利用の仕方についての課題が上がり，意見交換を行った。以上について，部会の検討テーマとして，来期も継続して検討を行う。</p> <p>(4) 地域生活支援拠点運営協議会の報告</p> <p>こども部会では，「利用した事業所が少なく，緊急といっても，どんなことを受けてくれて，どうしてくれるのか拠点の取り組みがわからない」などの意見があがった。</p>	

2 第3回事業担当者会議（11月27日開催）

相談支援部会相談支援連絡会と合同で開催し，相談支援事業所と放課後等デイサービス事業所との連携をテーマに意見交換会を行った。

(1) 放課後等デイサービスの個別支援計画と障害児支援利用計画について

必要な情報を整理して，お互いに伝える努力が必要，利用計画を事業所へ送り，連携をとることが重要などの意見があがった。

(2) お互いに求めること

情報を共有するためにサポートファイルを活用したり，お互いに制度を理解することが必要などの意見があがった。

情報共有の方法，内容については明確にすべきで，アセスメントの取り方，伝え方が課題となる。今後，相談支援部会の検討に加えて，こども部会でも上記の課題について具体的な方法を検討していく。

3 第4回早期支援担当者会議（12月19日開催）

第2期巡回相談までの実施状況の報告，公開療育についての報告を行った。

（仮称）児童発達支援事業所連絡会を10月31日に開催し，目的や内容について検討した。

【今後の活動予定】

- ・早期支援担当者会議（2月27日開催予定）
- ・来年度も部会及び事業担当者会議は年3回開催予定。早期支援担当者会議及び（仮称）児童発達支援事業所連絡会を計画的に開催する。

柏市自立支援協議会 全体会 部会報告シート

<p>【部会名】 くらし部会</p>	<p>【部会長】 社会福祉法人 彩会 平山 隆</p>
<p>1 第3回在宅生活支援連絡会（平成30年11月18日開催） これまでの連絡会の中で、特に意見が多かった3点についてグループワークを行い、意見交換をした。内容は以下の通り。</p> <p>(1) 報酬について 最低賃金アップ，処遇改善加算をヘルパーに還元する等，賃金は上がっているのに報酬単価が下がると運営費の確保が難しい。制度改正してほしい。 身体あり，なしの基準を明確にしてほしいという意見がだされた。</p> <p>(2) 研修について 資格取得や医療的ケアの研修費用が高いので事業所に補助金がほしい。法人合同で研修ができないか検討したいという意見がだされた。</p> <p>(3) 勤務形態，待遇について 高齢のヘルパーが多い。外国人ヘルパーを受け入れたい。男性ヘルパーや夜間支援，長時間支援などニーズに対応できるヘルパーが不足しているという意見がだされた。</p> <p>2 第3回居住サービス連絡会（平成30年12月6日開催） 松戸圏域障害者グループホーム等連絡協議会合同研修を行った。</p> <p>(1) 講義 テーマ：グループホームにおける「自立」とは 講師：中核地域生活支援センターほっとねっと桑田良子様</p> <p>(2) グループワーク 事例①：グループホーム利用者同士（男女間）の関わりについて 事例②：世話人の支援について 事例③：意思表示の少ない方の課題行動の支援方法について</p>	

(3) 講評

グループホームの利用者には重度の人が増えてきている。

世話人は、様々な価値観を活かして支援することが求められる。人としてどんなお付き合いをするのか、世話人は考える必要がある。自分の中でやりたいことがあり、それに対して行動することが自立ともいえる。自立と自律を考えていきたい。

3 第3回くらし部会（平成31年1月24日開催）

(1) 各連絡会の報告

ア 第2回，第3回居住サービス連絡会

イ 第2回，第3回在宅生活支援連絡会

(2) 意見交換

ア 今年度の部会での検討事項の整理

イ 自立支援協議会への提言内容について

主に人材不足，財源不足，グループホームの情報集約，拠点運営協議会への意見要望について，意見交換をした。

内容は以下の通り。行政へは，以下4点について提案した。

(ア) 人材確保

外国人労働者についての情報提供。就職フェア等の開催。シルバー人材の積極的な活用と育成。母子家庭，生活困窮者，精神障害者に対し，資格が取りやすいような仕組みや働きやすい仕組み作り。

(イ) 研修助成

医療的ケアの3号研修の事業所への助成。

(ウ) グループホーム

グループホーム等支援ワーカーの配置，またはグループホームの情報を一か所に集約してほしい。行動障害，身体障害に対応するグループホームや短期入所が少ない。単独型の短期入所が増えると良い。

(エ) 支給量，単価

居宅介護の標準支給量の引き上げ（60時間→80時

間)。移動支援の単価が低いので、「身体介護あり」の認定をしてほしい。

財源不足を賄うため、例えば移動支援の費用を利用者の所得に応じて一部負担にしてもよいのではないかという意見が出た。

事業所へは、事業所で開催する研修情報をオープンにしていただき、外部でも参加できるようにし、研修機会を増やしてほしいと提案した。

ウ 来年度の計画について

(ア) 松戸圏域や相談支援部会との合同開催は、来年度も実施予定。連絡会の名称を下記の通り変更することとした。

居住サービス連絡会→グループホーム等連絡会

(イ) 在宅生活支援連絡会→居宅支援連絡会

【今後の活動予定】

・来年度の実施回数は、くらし部会年3回、グループホーム等連絡会年3回（内、相談支援連絡会と合同、松戸圏域と合同）、居宅支援連絡会年3回の開催予定。

柏市自立支援協議会 全体会 会議報告シート

【会議名】柏市障害者差別解消支援
地域協議会/柏市障害者権利擁護ネ
ットワーク会議

【報告者】 障害者相談支援室 小野

1 柏市障害者差別解消支援地域協議会

(1) 第2回（11月8日開催）

ア 議題

(ア) 平成30年度上半期他部署での障害者差別に関する相談
受付状況について

他部署での差別に関する相談件数は0件、障害者相談支援
室では3件の相談があったことを報告した。

(イ) 啓発活動について

10月23日に民生委員を対象とした障害者への差別や
配慮に関する研修会を実施し39名が参加した。講師に千
葉県障害者福祉推進課の藤井氏をお招きし、講義及びグル
ープワークを実施した。

(ウ) その他

内閣府より柏商工会議所に障害差別に関する研修の委託
があり実施する予定である報告があった。

(2) 第3回（1月25日開催）

ア 議題

(ア) 平成30年度障害者差別に関する相談受付状況について
障害者相談支援室では相談件数が変わらない状況である
ことを報告した。

(イ) 啓発活動について

2月5日に柏商工会議所主催の障害差別研修について案
内があった。

3月5日に自閉症啓発デイと障害差別解消のビラ配りを
柏駅東口デッキで実施する案内があった。

(ウ) その他

旧優生保護法の相談窓口について、各都道府県が窓口を設置しているとの情報提供があった。

2 柏市障害者権利擁護ネットワーク会議

(1) 第2回（11月8日開催）

ア 議題

(ア) 障害者虐待の通報・届出の受付状況について

平成30年10月末時点で相談件数は8件であることを報告した。

(イ) 障害者虐待対応の検討について

8件の虐待事例について検証を行った。

(ウ) その他

(2) 第3回（1月25日）

ア 議題

(ア) 障害者虐待の通報・届出の受付状況について

平成30年12月末時点で相談件数は13件であることを報告した。

(イ) 障害者虐待対応の検討について

13件の虐待事例について検証を行った。

(ウ) 今後の障害者虐待相談体制について

一般社団法人千葉県権利擁護支援ネットワークと弁護士等のアドバイザー契約を結び、虐待対応について強化していくことを報告した。

(エ) その他

本人のための暮らしの権利を考えるため、本人の声を聴く場を権利擁護ネットワーク会議として設けたいと提案があり了承された。

3 権利擁護研修会

(1) 第3回研修回（2月28日開催予定）

ア 内容

(ア) テーマ「障害者の意思決定支援について」

講師：名川 勝氏（筑波大学 障害科学域 講師）
(イ) グループディスカッション

【今後の活動予定】

柏市自立支援協議会 全体会 部会報告シート

<p>【部会名】 柏市障害児等 医療的ケア支援連絡会</p>	<p>【報告者】 障害者相談支援室 加藤</p>
<p>1 第3回柏市障害児等医療的ケア支援連絡会（平成31年2月7日開催）</p> <p>(1) 医ケア児の通学に関するアンケート調査について</p> <p>市内在住の医ケア児の通学に関する現状及びニーズ把握等を目的としたアンケート調査を実施。アンケート結果については、制度の運用改善や新たな制度設立等の一助とするほか、必要に応じて関連部署等への情報提供を行う予定。</p> <p>第3回連絡会ではアンケート集計の途中経過を報告。アンケート内容からはきょうだい児の幼稚園等の送迎との兼ね合いや、車いす通学の困難さが伺えた。</p> <p>追加聞き取り可の回答をいただいている方も多く、懇談会等を通じてより具体的にお話を伺う予定である。</p> <p>(2) 次年度の議題について</p> <p>医ケア児の通学支援については今後は個別のワーキング等で対応する。</p> <p>今後の課題を第3回連絡会で共有し「多職種連携」と「卒後・成人の医ケア」を議題とすることとした。</p> <p>また、医ケア児の災害対策を予定している「医ケアママサロン」を議題として扱うかを検討。</p> <p>平成31年度コアメンバー会議で内容を具体的に協議する。</p> <p>(3) その他</p> <p>病院等関係機関に配布している医ケアリーフレットについて、年度変更に伴う組織変更等による内容変更を実施する。記載のある各関係機関とともに記載内容について後日検討し変更する予定。</p>	

【今後の活動予定】

・来年度の実施回数は3回を予定。日程の調整がつき次第各委員へ伝達する。医ケア児通学支援や多職種連携等の議題については個別のワーキンググループで協議を実施する予定。